

はなやか関西 関西の豊かな文化を発信 「文化の道」フォーラム の開催結果について

東京2020オリンピック・パラリンピック、ワールドマスターズゲームズ2021関西等に向け、日本の歴史・文化・伝統の宝庫である関西の文化的魅力を全国にアピールし、関西文化の振興につなげるとともに、関西への誘客を図るため、関西ならではの文化・芸能の実演を交えたフォーラムを昨年度に引き続き東京で開催しましたので、ご報告します。

- 日 時 平成31年2月2日(土) 14時～16時30分
- 場 所 観世能楽堂(東京都中央区銀座6-10-1 GINZA SIX 地下3階)
- 主 催 関西広域連合
- 後 援 公益社団法人 関西経済連合会、一般財団法人 関西観光本部、歴史街道推進協議会

テーマ 「伝統と創造 関西文化の現在を知る」

■ 開催内容

- (1) ダンスパフォーマンス「Life is」
Memorable Moment(ダンスチーム)



- (2) 講演「文化の道～「ものがたり」でめぐる関西～」
河内厚郎氏(文化プロデューサー)



- (3) 新作狂言「勘当息子」
(原作 手塚治虫「ブラック・ジャック」より)
善竹 隆司氏 / 善竹 隆平氏 / 善竹 大二郎氏
(能楽師大蔵流狂言方)



- (4) パネルディスカッション
「伝統と創造 関西文化の現在を知る」
パネリスト 河内厚郎氏
旭堂 小南陵氏(講談師)
小松 和彦氏(国際日本文化研究センター所長)
松尾 依里佳氏(ヴァイオリニスト)



- (5) その他
会場ロビーにおいて、ポスター展示等により関西各府県市の文化資源等をPR

- 参加者 480名

講演・パネルディスカッションでの主な発言

- ・完全にゼロからの創造というものはなく、どんなものでも何らかの文化的遺伝子というのがもともとあり、その新しい結びつけ方というか、違うものを異種交配した人が天才と言われる。手塚治虫はまさにそれが奇跡的に成功した大衆芸術家だと思う。
- ・絵巻物は現代の漫画やアニメの起源とも言え、千年も昔につくられたものを、色々な形で組みかえながら現代につながってきているというふうにも考えることができる。
- ・海外の方が、日本人でもわかりにくい講談の「修羅場読み」を聞いて、「Oh, Japanese Rap!」と言った。韻を踏んでいるからリズムに乗っておもしろいという共感性もあるのだなとびっくりした。そういう遊び心を生かして発信していくならなと思っている。

参加者の反応(アンケート結果から)

- ・多方面から関西だけでなく文化をどう考えるかということを考える良い内容であった。
- ・パネルディスカッションを聞いて関西へ行きたくなった。
- ・狂言は現代風にアレンジしており、わかりやすくて良かった。ダンスの圧倒的なパフォーマンスには驚いた。 等